

## 実務経験のある教員による授業科目一覧表

[部門：医療衛生学部 医療検査学科]

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
1 医療学概論	病院、企業、公的機関等での経験を踏まえ、医療に関連した各種職業分野と社会活動等について講義する。	北里 英郎	檀原 宏文 ※ 黛 まどか ※ 北里 耕亮 ※ 北里 一郎 ※ 森 孝之 ※ 五十嵐真希 ※ 丸山 弘子 ※ 吉田 一成 ※ 洪 賢秀 ※ 柴 喜崇 ※ 渋谷 明隆 ※ 油谷 和子 ※ 石田 浩之 ※ 田ヶ谷浩邦 ※ 東條美奈子 ※	1	前期	2 単位	必修
2 チーム医療論(演習含)	病院での臨床経験を踏まえ、実践的なチーム医療の意義や必要性、チーム医療におけるコミュニケーションの重要性や必要性について概説する。	伊藤 智夫	伊藤 智夫 ※ 岩村 正嗣 ※ 宮岡 等 ※ 渡邊 昌彦 ※ 坂東 由紀 ※ 厚田幸一郎 ※ 有田 悦子 ※ 吉田 一成 ※ 渋谷 明隆 ※ 伊勢田明子 ※ 齋藤有紀子 ※ 田ヶ谷浩邦 ※ 松永 篤彦 ※ 五味 勉 ※ 油谷 和子 ※ 渡邊 達也 ※	1	後期	1 単位	必修
3 解剖学実習	病院での臨床経験を踏まえ、人体解剖学の知識を臨床で必要とされるところに重点を置いて教授する。	門谷 裕一	門谷 裕一 ※ 小畑 秀一 ※ 田口 明子 ※ 林 徹 ※ 木村 武俊 ※	2	前期	1 単位	必修
4 生理学Ⅱ	研究所での研究経験を踏まえ、生理学分野の研究成果が人体の仕組みの解明にどのように貢献しているか概説する。	石橋 仁	石橋 仁 ※	2	前期	2 単位	必修
5 生理学実習	研究所での研究経験を踏まえ、生体の機能がどのように解明されてきたのか概説する。	緒形 雅則	石橋 仁 ※ 秋田 久直 ※ 緒形 雅則 ※ 松尾 純孝 ※ 小島 史章 ※ 濱田 幸恵 ※	2	前期	1 単位	必修
6 病理学	病院での病理診断経験を踏まえ、疾病の発症機構、病態、病理所見を概説する。	高橋 博之	高橋 博之 ※	2	前期	2 単位	必修
7 生化学	研究所での研究経験や病院での臨床経験を踏まえ、生化学を基礎とするライフサイエンス領域の研究成果が人体を理解する上でどのように役立っているか概説する。	市川 尊文	市川 尊文 ※ 市川上 文貴 ※ 川島 麗 ※ 前川 達則 ※	2	通年	4 単位	必修

## 実務経験のある教員による授業科目一覧表

[部門：医療衛生学部 医療検査学科]

	科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
8	生化学実習	研究所での研究経験や病院での臨床経験を踏まえ、人体を構成する成分がどのように分析されるかを概説する。	川島 麗	川島 麗 ※ 市川 尊文 ※ 川上 文貴 ※ 前川 達則 ※ 松尾 純孝	2	前期	1 単位	必修
9	組織細胞学実習	病院での臨床経験を踏まえ、組織や細胞の知識を臨床で必要とされるところに重点を置いて教授する。	門谷 裕一	門谷 裕一 ※ 小畑 秀一 ※ 田口 明子 ※ 林 徹 木村 武俊	2	前期	1 単位	必修
10	公衆衛生学	研究機関での食品の安全性試験の概要を説明する。	内藤由紀子	内藤由紀子 ※ 片桐 裕史	2	通年	3 単位	必修
11	病理検査学	大学での医療技術者としての経験を踏まえ、病理診断における病理検査の意義および実際の病理検査がどのように行われるのかを概説する。	土屋 紅緒	土屋 紅緒 ※	2	前期	2 単位	必修
12	病理検査学実習	病院等での病理診断経験を踏まえ、疾患の病理組織所見ならびに標本作製、各種染色法を概説する。	高橋 博之	高橋 博之 ※ 丸山 弘子 ※ 土屋 紅緒 ※	2	後期	1 単位	必修
13	寄生虫検査学（実習含）	研究所での経験を踏まえ、寄生虫検査の意義及び実際の検査がどのように展開されるのかを概説する。	川村 俊彦	辻 尚利 ※ 小山 浩一 ※ 八田 岳士 ※ 坪川 大悟	2	通年	2 単位	必修
14	臨床検査総論 I	臨床検査技師として病院での臨床経験を踏まえ、実際の一般検査がどのように展開されているかを概説する。	鉢村 和男	鉢村 和男 ※ 長塩 亮 ※	2	前期	2 単位	必修
15	臨床検査総論 I 実習	臨床検査技師として病院での臨床経験を踏まえ、実際の一般検査の手技や得られた結果の評価法について概説する。	長塩 亮	佐藤 雄一 ※ 鉢村 和男 ※ 長塩 亮 ※ 伊藤 亜弥香 ※ 飯塚 高生 ※ 志賀 常雄 ※ 日野 雄太 ※	2	後期	1 単位	必修
16	遺伝子検査学	病院や研究所等での遺伝子検査の手法についての経験を踏まえ、各種遺伝子検査法の意義や実際にどのように展開されるのかを概説する。	佐藤 雄一	佐藤 雄一 ※ 長塩 亮 ※	2	後期	2 単位	必修
17	遺伝子検査学実習	病院や研究所等での遺伝子検査の手法についての経験を踏まえ、実際の遺伝子検査の手技や得られた結果の評価法について概説する。	長塩 亮	佐藤 雄一 ※ 長塩 亮 ※	2	後期	1 単位	必修

## 実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：医療衛生学部 医療検査学科〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
18 微生物検査学	病院微生物検査室ならびに研究所での実務経験を踏まえて、各種病原細菌の同定方法を講義する。	北里 英郎	北里 英郎 ※ 中村 正樹 ※ 前花祥太郎 ※ 久保 誠 ※ 岡田 信彦 ※ 林 俊治 ※ 二本柳 伸 ※ 竹原 一明 ※	2	通年	4 単位	必修
19 微生物検査学実習	病院微生物検査室ならびに研究所での実務経験を踏まえて、各種病原細菌の同定手技を指導する。	北里 英郎	北里 英郎 ※ 中村 正樹 ※ 前花祥太郎 ※ 久保 誠 ※ 二本柳 伸 ※	2	後期	1 単位	必修
20 放射線科学（実習含）	研究所における高度な放射線・放射性同位元素の医学利用及び研究経験並びに安全管理の経験を踏まえて、放射性同位元素の取扱い、計測、利用及び安全管理に関わる実習を行う。	村石 浩	村石 浩 ※ 鍵谷 豪 ※ 佐々木 徹 ※	2	後期	1 単位	必修
21 血液学 I	病院などでの実務の経験を踏まえ、血液疾患における検査の意義や治療法などについて概説する。	堀江 良一	堀江 良一 ※ 佐藤 隆司 ※	2	後期	2 単位	必修
22 臨床化学 I	臨床検査技師や研究者として病院や研究所での臨床・研究経験を踏まえ、臨床化学の意義及び実際の臨床化学検査がどのように展開されるのかを概説する。	石井 直仁	石井 直仁 ※ 黒崎 祥史 ※ 井本 明美 ※	2	後期	2 単位	必修
23 免疫検査学 I	医師および研究者としての免疫検査に関する実務経験を活かし、免疫検査の原理・背景に重点を置いて概説する。	川村 俊彦	川村 俊彦 ※ 久保 誠 ※ 太田 悦朗 ※	2	後期	2 単位	必修
24 臨床生理学 I A	病院での臨床経験を踏まえ、生理検査学の意義及び実際の検査がどのように行われるかを理解するための基礎を概説する。	片桐 真人	片桐 真人 ※ 横場 正典 ※ 氏平 政伸 ※ 鈴木 淳子 ※ 姫田 久美 ※ 宇治橋善勝 ※ 荒幡 篤 ※	2	後期	2 単位	必修
25 公衆衛生学実習	公的機関での短期専門家としてインドネシア共和国に派遣され、衛生における研究や教育の指導に携わった経験を踏まえ、環境問題解決の基本的な考え方や上下水道整備の意義を概説する。	内藤由紀子	内藤由紀子 ※ 伊与 亨 ※ 片桐 裕史 ※	3	前期	1 単位	必修
26 医用工学概論	研究所での経験を踏まえ、実際の工場などで用いられる、電子デバイスをを用いての測定系について概説する。	稲岡 秀検	稲岡 秀検 ※	3	前期	2 単位	必修

## 実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：医療衛生学部 医療検査学科〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
27 医用工学実習	研究所での経験を踏まえ、実際の工場などで用いられる、電子デバイスを用いての測定系について実例を挙げて解説する。企業での機器開発経験を踏まえ、医用工学における原理や応用例の解説、回路組立て・実験を安全に遂行するための実習指導を行う。	熊谷 寛	稲岡 秀検 ※ 小川 惠美 ※ 有阪 直哉 ※ 小菅 智裕 ※	3	後期	1 単位	必修
28 臨床病態学	病院での臨床経験を踏まえ、様々な疾患の最新の検査、診断や治療がどのように展開されるのかを病因を含めて概説する。	横場 正典	片桐 真人 ※ 石井 直仁 ※ 福田 倫也 ※ 堀江 良一 ※ 横場 正典 ※ 佐藤 隆司 ※ 小島 史章 ※ 守屋 利佳 ※ 迎 美幸 ※ 魚嶋 晴紀 ※ 金子 亨 ※ 有沼 良幸 ※	3	通年	4 単位	必修
29 血液学Ⅱ	病院などでの実務の経験を踏まえ、血液疾患における検査の意義や治療法などについて概説する。	堀江 良一	堀江 良一 ※ 佐藤 隆司 ※	3	前期	2 単位	必修
30 血液学実習	病院などでの実務の経験を踏まえ、血液疾患における基本的検査と採血法について指導する。	堀江 良一	堀江 良一 ※ 佐藤 隆司 ※ 渡邊 真理子 ※	3	後期	1 単位	必修
31 臨床化学Ⅱ	臨床検査技師や研究者として病院や研究所での臨床・研究経験を踏まえ、臨床化学の意義及び実際の臨床化学検査がどのように展開されるのかを概説する。	石井 直仁	石井 直仁 ※ 黒崎 祥史 ※ 井本 明美 ※ 小島 史章 ※	3	前期	2 単位	必修
32 臨床化学実習	臨床検査技師や研究者として病院や研究所での臨床・研究経験を踏まえ、臨床化学実習の意義及び実際の臨床化学検査がどのように展開されるのかを概説する。	石井 直仁	石井 直仁 ※ 黒崎 祥史 ※ 井本 明美 ※ 廣渡 祐史 ※ 長島 真美 ※ 齊藤 央 ※	3	後期	1 単位	必修
33 免疫検査学Ⅱ	医師および研究者としての免疫検査に関する実務経験を活かし、免疫検査の原理・背景に重点を置いて概説する。	川村 俊彦	川村 俊彦 ※ 久保 誠 ※ 太田 悦朗 ※	3	前期	2 単位	必修
34 免疫検査学実習	医師および研究者としての免疫検査に関する実務経験を活かし、実際の免疫検査がどのように展開されるかを概説する。	川村 俊彦	川村 俊彦 ※ 久保 誠 ※ 太田 悦朗 ※	3	前期	1 単位	必修
35 臨床生理学ⅠB	病院での臨床経験を踏まえ、生理検査学の意義及び実際の検査がどのように行われているのかを臨床的に概説する。	片桐 真人	片桐 真人 ※ 横場 正典 ※ 荒幡 篤 ※ 榎田 喜之 ※ 姫田 久美 ※ 柳原 美智子 ※ 藤井 滋 ※	3	前期	2 単位	必修

## 実務経験のある教員による授業科目一覧表

[部門：医療衛生学部 医療検査学科]

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
36 臨床生理学Ⅱ (画像検査学含)	病院での臨床経験を踏まえ、生理検査学の意義及び実際の検査方法がどのように行われているのかを概説する。	横場 正典	横場 正典 ※ 片桐 真人 ※ 永野 幸一 ※	3	後期	2 単位	必修
37 臨床生理学実習	病院での臨床経験を踏まえ、生理検査学の意義及び実際の検査方法がどのように行われているのかを実践かつ概説する。	片桐 真人	片桐 真人 ※ 横場 正典 ※ 石井 直仁 ※ 松永 篤彦 ※ 神谷 健太郎 ※ 小倉 彩 ※ 荒幡 篤 ※ 鈴木 淳子 ※ 榎田 喜之進 ※ 小幡 進 ※ 姫田 久美 ※ 中西 久幸 ※ 石田 裕美 ※ 小野山 志織 ※	3	前期	1 単位	必修
38 検査機器学	臨床検査技師として病院での臨床経験を踏まえ、検査機器学の意義及び実際の臨床検査でどのように展開されるのかを概説する。	石井 直仁	石井 直仁 ※ 黒崎 祥史 ※ 井本 明美 ※ 佐藤 隆司 ※ 中村 正樹 ※ 久保 誠 ※ 藤村 善行 ※	3	前期	1 単位	必修
39 検査管理学	臨床検査技師として病院での臨床経験を踏まえ、検査管理学の意義及び実際の臨床検査でどのように展開されるのかを概説する。	石井 直仁	石井 直仁 ※ 黒崎 祥史 ※ 井本 明美 ※ 宇治橋 善勝 ※ 内田 一弘 ※	3	前期	1 単位	必修
40 臨床細胞学	病院、検査センター、研究所、企業での臨床経験を踏まえ、細胞診の意義及び実際の判定、診断がどのように展開されるのかを概説する。	古田 玲子	古田 玲子 ※ 西村由香里 ※ 阿部 直也 ※	3	前期	2 単位	必修
41 臨床細胞学実習	病院、検査センター、研究所、企業での臨床経験を踏まえ、細胞診の意義及び実際の判定、診断がどのように展開されるのかを概説する。	古田 玲子	古田 玲子 ※ 西村由香里 ※ 阿部 直也 ※	3	前期	1 単位	必修

## 実務経験のある教員による授業科目一覧表

[部門：医療衛生学部 医療検査学科]

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前 後 期	単位数	必修・ 選択等
42 医療安全管理学 (実習含)	臨床検査技師、医師、薬剤師、看護師、獣医師、研究員、弁護士として病院や研究所での臨床・研究経験を踏まえ、医療安全管理学の意義及び実際の臨床検査でどのように展開されるのかを概説する。	石井 直仁	石井 直仁 ※ 片桐 真人 ※ 堀江 良一 ※ 川村 俊彦 ※ 高橋 博之 ※ 佐藤 雄一 ※ 古田 玲子 ※ 佐野 肇 ※ 丸山 弘子 ※ 横場 正典 ※ 土屋 紅緒 ※ 鉢村 和男 ※ 佐藤 隆司 ※ 長塩 亮 ※ 久保 誠 ※ 太田 悦朗 ※ 中村 正樹 ※ 黒崎 祥史 ※ 井本 明美 ※ 前花 祥太郎 ※ 渡邊 真理子 ※ 西村 由香里 ※ 阿部 直也 ※ 和田 達彦 ※ 荒井 有美 ※ 小池 良輔 ※ 江川 清文 ※	3	前期	1 単位	必修
43 テュートリアル教育	病院などでの臨床・研究経験を踏まえ、医療に携わるにあたっての考え方、心構えを育成する。	太田 悦朗	太田 悦朗 ※ 佐藤 雄一 ※ 高橋 博之 ※ 堀江 良一 ※ 土屋 紅緒 ※ 丸山 弘子 ※ 横場 正典 ※ 久保 誠 ※ 佐藤 隆司 ※ 長塩 亮 ※ 阿部 直也 ※ 井本 明美 ※ 中村 正樹 ※ 黒崎 祥史 ※ 鉢村 和男 ※ 前花 祥太郎 ※ 渡邊 真理子 ※	3	後期	1 単位	必修

## 実務経験のある教員による授業科目一覧表

[部門：医療衛生学部 医療検査学科]

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前 期 後 期	単位数	必修・ 選択等
44 臨床検査総論Ⅱ	臨床・研究経験を踏まえ、解剖組織学、生理学、生化学、血液検査学、免疫検査学、臨床化学、微生物検査学、臨床検査総論、輸血学、病理細胞検査学、臨床生理学、公衆衛生学、医動物学、放射線科学、医用工学の意義及び実際の検査がどのように展開されるのかを概説、臨床の場での臨床検査技師として役割を解説する。	堀江 良一	堀江 良一 ※ 片桐 真人 ※ 北里 英郎 ※ 佐藤 雄一 ※ 高橋 博之 ※ 川村 俊彦 ※ 古田 玲子 ※ 横場 正典 ※ 土屋 紅緒 ※ 鉢村 和男 ※ 久保 誠 ※ 黒崎 祥史 ※ 西村 由香里 ※ 太田 悦朗 ※ 佐藤 隆司 ※ 長塩 亮 ※ 中村 正樹 ※ 阿部 直也 ※ 井本 明美 ※ 前花 祥太郎 ※ 渡邊 真理子 ※ 門谷 裕一 ※ 緒形 雅則 ※ 前川 達則 ※ 木村 武俊 ※ 丸山 弘子 ※ 稲岡 秀検 ※ 村石 浩浩 ※ 片桐 裕史 ※ 辻 尚利 ※ 荒幡 篤 ※	4	通年	8 単位	必修

実務経験のある教員による授業科目一覧表

[部門：医療衛生学部 医療検査学科]

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前 後 期	単位数	必修・ 選択等
45 臨床実習 [4年]	病院での臨床経験を踏まえ、血液検査、免疫化学検査、微生物検査、一般検査、輸血、病理細胞検査、生理検査の意義及び実際の検査がどのように行われているのかを実践・概説する。	片桐 真人	片桐 真人 ※ 横場 正典 ※ 石井 直仁 ※ 高橋 博之 ※ 堀江 良一 ※ 黒崎 祥史 ※ 井本 明美 ※ 三枝 信 ※ 村雲 芳樹 ※ 狩野 有作 ※ 棟方 伸一 ※ 内田 一弘 ※ 宇治橋 善勝 ※ 櫻井 慶造 ※ 鈴木 淳子 ※ 阿部 有香 ※ 小本 美奈 ※ 河島 江美 ※ 佐橋 久美子 ※ 中崎 信彦 ※ 中崎 広子 ※ 平井 誠 ※ 槇田 喜之 ※ 三浦 芳典 ※ 安達 讓 ※ 石田 裕美 ※ 岩楯 欽央 ※ 上原 由佳理 ※ 内田 芳江 ※ 遠藤 留美子 ※ 岡田 由紀 ※ 押田 好美 ※ 小貫 智世 ※ 小野 澤裕也 ※ 小野 山志織 ※ 小山 紘子 ※ 工藤 令良 ※ 鈴木 政子 ※ 土筆 智晶 ※ 槇田 和穂 ※ 中西 薫 ※ 中西 久幸 ※ 野澤 晶子 ※ 久松 知子 ※ 藤井 滋 ※ 藤村 善行 ※ 宮内 和美 ※ 矢嶋 正太郎 ※ 安本 龍馬 ※ 柳原 美智子 ※ 山辺 晴美 ※ 岩切 文子 ※ 下河 才ミ ※ 伊藤 亜弥香 ※ 飯塚 高生 ※ 遠藤 洋 ※ 小幡 進 ※ 芳田 貢 ※ 草薨 千晶 ※ 君塚 郁代 ※	4	通年	7 単位	必修

実務経験のある教員による授業科目一覧表

[部門：医療衛生学部 医療検査学科]

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前 後 期	単位数	必修・ 選択等
			小林 奈々 絵 ※ 姫田 久美 ※ 平田 千広 ※ 増山 麻記子 ※ 宮下 佳子 ※ 村山 真弓 ※ 山下 和也 ※ 久場 樹 ※ 横山 いさみ ※ 館林 妙子 ※ 出村 裕子 ※ 吉田 佐土子 ※ 横澤 正志 ※ 荒木 孝仁 ※ 柿沼 廣邦 ※ 柿沼 優美子 ※ 坂口 忍 ※ 角田 美奈子 ※ 横山 大 ※ 阿部 義郎 ※ 池田 このみ ※ 太田 誠子 ※ 大村 晃永 ※ 杉崎 智子 ※ 鈴木 和佳奈 ※ 中川 仁美 ※ 野澤 紫織 ※ 長谷川 祐二 ※ 村田 莉紗 ※				
46	細胞検査士コース	古田 玲子	古田 玲子 ※ 西村 由香里 ※ 阿部 直也 ※ 高橋 博之 ※ 佐藤 之俊 ※ 松本 和将 ※ 新井 努 ※ 山下 和也 ※ 横山 大 ※ 柿沼 廣邦 ※ 横澤 正志 ※ 柿沼 優美子 ※ 坂口 忍 ※ 大部 誠 ※ 浅見 英一 ※ 五十嵐 清子 ※ 池田 勝秀 ※ 池畑 浩一 ※ 石山 功二 ※ 伊藤 仁 ※ 稲垣 敦史 ※ 大川 千絵 ※ 大野 喜作 ※ 大橋 健一 ※ 岡田 ゆり子 ※ 加戸 伸明 ※ 加藤 生真 ※ 加藤 拓 ※ 川井 麻衣子 ※ 崖本 浩次 ※	4	通年	5 単位	自由
	病院、検査センター、研究所、企業での臨床経験を踏まえ、細胞診の意義及び実際の判定、診断がどのように展開されるのかを概説する。						

## 実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：医療衛生学部 医療検査学科〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前 期 後 期	単位数	必修・ 選択等	
			草苺 宏有 ※ 窪田 真弓 ※ 桑尾 定仁 ※ 郡 秀一 ※ 腰高 豊 ※ 佐々木 栄司 ※ 佐藤 由紀子 ※ 高澤 豊 ※ 照井 仁美 ※ 仲村 武 ※ 平田 哲士 ※ 古田 則行 ※ 古旗 淳 ※ 町田 知久 ※ 松井 成明 ※ 三宅 真司 ※ 山田 正人 ※					
47	分子血栓止血学	病院での臨床経験を踏まえ、先天的、後天的出血性疾患についての臨床的意義について講義し、また実際の血液補充療法や薬物療法がどのように展開されているのかを概説する。	松尾 純孝	松尾 純孝 ※	全	前期	2 単位	自由
48	臨床検査学概論	臨床検査技師・細胞検査士・医師として病院、検査センター、健診センター、研究所、企業での経験を踏まえ、各分野での臨床検査の意義、様々な医療現場において活躍する臨床検査技師の役割及び臨床検査技師・細胞検査士の実際の業務について概説する。	佐藤 隆司	佐藤 隆司 ※ 横場 正典 ※ 西村 由香里 ※ 長塩 亮 ※ 太田 悦朗 ※ 中村 正樹 ※ 黒崎 祥史 ※	全	後期	1 単位	自由
49	ボランティア社会学	医療機関での臨床業務や研究所・企業での研究経験を踏まえ、医療知識が災害や国内外のボランティア活動にどのように活かされているかを概説する。	丸山 弘子	丸山 弘子 ※ 菅野 信弘 ※ 上澤 悦子 ※ 長沢 光章 ※ 谷ヶ城 良太 ※ 正木 朋也 ※ 河村 晃依 ※ 江川 美奈 ※ 佐藤 春彦 ※ 柴 喜崇 ※ 渡邊 裕之 ※ 大室 和也 ※ 医療衛生学部QQクラブ	全	後期	2 単位	自由
50	神経・生理心理学	研究所、臨床（医師）での実務経験を踏まえ、神経活動、神経伝達、神経系構造と役割について解説する。	田ヶ谷浩邦	田ヶ谷浩邦 ※	全	後期	2 単位	自由
51	社会・集団・家族心理学	臨床心理士としての臨床経験を踏まえ、社会・集団における対人・自己認知や家族機能の正常および病的なメカニズムを概説する。	市倉加奈子	市倉加奈子 ※	全	前期	2 単位	自由
52	感情・人格心理学	臨床心理士としての臨床経験を踏まえ、感情・人格の正常および病的なメカニズムを概説する。	深瀬 裕子	深瀬 裕子 ※	全	後期	2 単位	自由

## 実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：医療衛生学部 医療検査学科〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
53 医療に利用される最新科学	病院での臨床経験を踏まえ、医学における研究トピックス及び最近の動向を概説する。	原 秀剛	原 秀剛 ※	全	後期	1 単位	自由
54 生体信号計測概論	企業での機器開発経験を踏まえ、生体信号計測機器の利用と開発に必要な基礎知識について概説する。	小菅 智裕	小菅 智裕 ※	全	前期	1 単位	自由
合計						105 単位	